



《20. 9. 25 第149号》

健民運動 かわら版



発行:石川県健民運動推進
金沢市鞍月1丁目1番地
県民文化局県民生活課内
TEL 076-225-1388

ホームページ [健民運動](#) [検索](#)

(E-mail)kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

～毎月第3日曜日は家庭の日です。家族とのふれあいを大切にしましょう～

◇鼓 動

地域住民が主役のまちづくりの実現を目指して

羽咋市一ノ宮公民館 館長 山田 邦男

◇健康体力づくり活動の推進

- ・第35回「太陽と緑に親しむ健民祭」総合開会式が実施されました。

◇環境・文化活動の推進

- ・健民桜の名所づくり運動植樹予定地が決まりました。
- ・第44回花いっぱいコンクール現地審査が始まりました。
- ・省エネ・リサイクル推進事業「子どものための省エネ・リサイクル推進クイズ大会」が開催されています。
- ・ふるさと文化再発見事業の取り組みを紹介します。

・青少年健全育成活動の推進

- ・たくさんの「みんなのありがとう」が届いています。
- ・平成20年度少年の主張地区大会が各地で開催されました。

◇健民運動紹介・奨励コーナー

- ・第35回太陽と緑に親しむ健民祭の10月の開催種目を紹介します。

◇県民ボランティアセンターだより

◇健民運動カレンダー

◇薫 風

集中豪雨の被害に遭って

石川県BBS連盟

会長 持田 真生



鼓 動

地域住民が主役のまちづくりの実現を目指して

羽咋市一ノ宮公民館 館長 山田 邦男



「私は、この町にきて良かった。すばらしい人々に出会え、ボランティアでまちのために尽くすこんなに多くの人々が住むまち、この町のことがとても好きになりました。」ある女子大生の感想です。

地域の活性化とは、「まち」の賑わいや観光客の参入が増えることなども確かにそうなのですが、本来は住民一人ひとりが元気で自己を生かし創造的に生きている人が、より多く存在していることです。これからの「まちづくり」は、住民がいかにまちに愛着を示していけるか、よりよいコミュニティが形成されているかということが、大切な目標になると思います。それは、住民がこのまち、この地域に生活してきて良かったと思えるようなさまざまな環境が出来上がっている「まち」ということだと思います。

「まちづくり」の原則・終局の目標は、住民一人ひとりが人間的に成長するということです。そこに生涯学習の意義があると思います。一昨年、私たちの住んでいる「まち」が、どのようにすれば住みよい「まち」になるかという観点から「まちづくり推進協議会」を立ち上げるという方向で話し合いが行われました。地区内の諸団体や学識経験者、公募委員等で会を編成し、地域の発展に関する事業や環境の保全・美観、青少年の健全育成および文化教育・スポーツの高揚等の事業を通じながら、地域住民の自治意識の高揚と住民の融和と連携を深めながら、心豊かな「まちづくり」と地域の活性化を目指していこうと頑張っています。

また、地域は子どもたちにとっての全生活領域であり、学校も含めて地域社会を形づくるさまざまな空間において子どもたちがさまざまな人に出会うことができ、さまざまな異なる体験ができる場でもあり、このことから子どもたちの住む地域の環境整備を考え、“地域の子どもは地域で育てる”という観点でも「まちづくり」を考えていく必要があると思います。

しかしながら、近年、市内の体育館など公の施設で管理運営の民営化が行われるようになってきています。このことに関わる説明会は、市内の各地区の公民館でも行われてきています。地域住民の生涯にわたる活動の拠点である公民館が、この先どのように推移していくかがとても気になってきています。

ともかく、この問題は地域住民の理解が必要であり協力がなければ進まないことだと思います。いまこそ地域の皆さんが共に考え話し合い、地域住民が心豊かになり、地域が活性化する方策を真剣に考えることが大切ではないでしょうか。



健康体力つくい活動の推進

◇第35回「太陽と緑に親しむ健民祭」総合開会式が実施されました。



第35回「太陽と緑に親しむ健民祭」総合開会式は9月23日（火・祝）午前9時より各団体および一般参加者ら約1,000名が参加し、西部緑地公園陸上競技場（金沢市）で開催されました。

村田信親実行委員長の開会宣言で始まり、参加者全員によるラジオ体操のつどい、健民さわやか体操が実施され、石川県健民運動推進本部長である谷本正憲知事が主催者を代表して挨拶に立ち、「この健民祭も回を重ね、県民の皆様には生涯にわたっての体力づくりとスポーツを楽しむ気運を高めることができたと考えています。多くの種目が開催されますが、交流を深めていただき、それぞれのライフステージに応じたスポーツを見つけて下さい。」と述べられました。



この後、坂井さんご一家親子三世代が、「家族みんなが毎日健康体力づくりに励んでいる」というメッセージを参加者のみなさんに伝えました。



「バトンコネクション」によるアトラクション

健民祭は、9月7日から始まり、10月13日（月・祝）まで県内の各会場で実施されます。



環境・文化活動の推進

◇健民桜の名所づくり運動植樹予定地が決まりました。

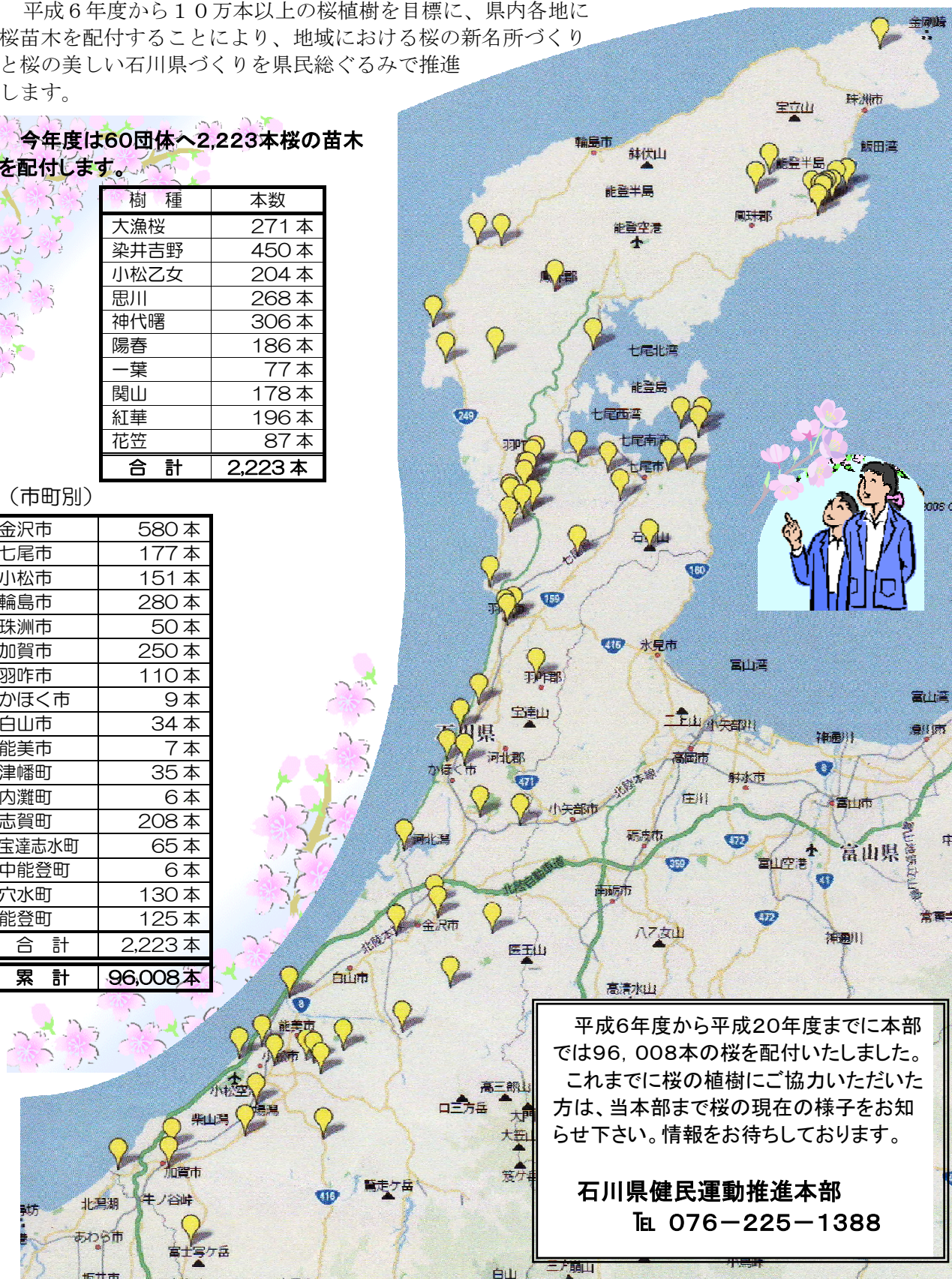
平成6年度から10万本以上の桜植樹を目標に、県内各地に桜苗木を配付することにより、地域における桜の新名所づくりと桜の美しい石川県づくりを県民総ぐるみで推進します。

今年度は60団体へ2,223本桜の苗木を配付します。

樹 種	本数
大漁桜	271 本
染井吉野	450 本
小松乙女	204 本
思川	268 本
神代曙	306 本
陽春	186 本
一葉	77 本
関山	178 本
紅華	196 本
花笠	87 本
合 計	2,223 本

(市町別)

金沢市	580 本
七尾市	177 本
小松市	151 本
輪島市	280 本
珠洲市	50 本
加賀市	250 本
羽咋市	110 本
かほく市	9 本
白山市	34 本
能美市	7 本
津幡町	35 本
内灘町	6 本
志賀町	208 本
宝達志水町	65 本
中能登町	6 本
穴水町	130 本
能登町	125 本
合 計	2,223 本
累 計	96,008 本



平成6年度から平成20年度までに本部では96,008本の桜を配付いたしました。これまでに桜の植樹にご協力いただいた方は、当本部まで桜の現在の様子をお知らせ下さい。情報をお待ちしております。

石川県健民運動推進本部
TEL 076-225-1388

◇第44回花いっぱいコンクール現地審査が始まりました。



健民運動推進本部では、昭和40年から、心豊かな生活環境づくりを推進する運動の一環として、石川県民の手づくりによる花いっぱい運動が全県くまなく広がることを願い、花いっぱいコンクールを実施しています。



今年度は、81件の応募があり、9月16日から9月24日まで審査員が、応募された現地まで赴き、審査をいたしました。

部門別の応募数は下表のとおりです。

A個人の部	6	E高等学校の部	5
B幼少年の部	10	F一般の部(50坪以上:165㎡以上)	7
C小学校の部	10	G一般の部(49坪から10坪:164㎡~33㎡)	16
D中学校の部	8	H一般の部(9坪以下:32㎡以下)	19

この後、全審査員による総合審査を経て、部門別に賞を決定します。

なお、表彰式は11月16日(日)石川県庁19階ロビーで開催される「花いっぱいのつどい」で行います。

◇省エネ・リサイクル推進事業「子どものための省エネ・リサイクル推進クイズ大会」が開催されています。



クイズ大会(かほく市)

オリジナルエコバッグ

健民運動推進本部では、子どもたちの環境に対する意識の啓発を図り、身近な暮らしの中での実践に繋がることを期待して、昨年に引き続き今年度も「子どものための省エネ・リサイクルクイズ大会」を県内の市町や各団体と連携しながら実施することとしておますが、先般、8月23日には今年度最初の「クイズ大会」が、かほく市の宇ノ気体育館において開催されました。

当日は、子ども会のリーダー研修に参加の34名の子どもたちが、環境問題や省エネルギーにまつわる15問のクイズに挑戦しました。

なお、各地域において、今後開催される行事などで、この「クイズ大会」の実施をご希望されるところがありましたら、健民運動推進本部事務局(TEL076-225-1388)までご連絡ください。クイズ大会で正解率の高い子どもには、賞品として当推進本部特製のエコバッグを贈呈いたします。

◇ふるさと文化再発見事業の取り組みを紹介します。



「畠山氏と松波城にまつわる人々にふれる」に取り組む

民有「歴史文化」資産の保存活用を考える会（能登町）



先日の北京オリンピックで金メダルを獲った選手達のふるさとは子供達が「僕達は誇りに思っています」と言っていたのが大変印象的でした。確かに子供達には心の拠り所となるものが必要であると痛感した次第です。

さて、我が能登町では「働き場所が無い」などの理由で若者達をはじめ人口流出が相次いでいます。彼らは大抵、自分達の町に誇りとなるものを見出していないと思い、この事業の応募に至った訳です。そもそも、我が能登町松波には五百年前(1474～1577年)に存在した松波城の史跡があり、それにまつわる多くの記録や伝承があるのであり、これらを周知共有することで町民達、とりわけ若者達には地域愛を喚起し帰巢本能を掻き立てる一助となれればと願う次第です。

そこで、大きくは次の二つのことを行ないます。

1. 松波城と、その主であった松波畠山氏のルーツとてん末について資料収集を行なう。次いで中学生にも容易に理解でき、あらかじめ関心を持ってもらうため、生徒と父兄を対象にしてアンケート調査を行ない、視点を整理し編集する。内容は以下の点を留意し電子媒体化(CD)する。
 - ・興味を持ちやすくなるようにウェブ画面風にし、関心に応じ内容を深めることが出来るよう階層構造化する。(特定のソフトウェアの有無に依存しないという利点もある)
 - ・主画面は20面程度で内容を簡潔に30分程度で概観できるものとし、さらに深く踏み込んで知識を得たり、登場人物と感情を共感できるよう複数のリンクページの作成を行なう。
2. 内容を周知してもらうため、町内の全中学校(5校)で出張講義を行なう。その際、資料として中学生542名、担任教師分その他で合計600枚のCDを作成し、配布する。加えて、学校、学年別で現地の散策を促し、ガイドを行なう。

なお、これらは町民がふるさとへの愛着を深め、もって史跡の伝承を図るというもので歴史の節目で登場人物がどうかかわり、人間性がどう影響したかまで踏み込み、彼らと親近感を培うことにより、その目的を達成するもので、受験のための覚える歴史とは一線を画すものです。さらに継続性という点も考え、上記の第二項目については、新入生を対象に毎年行なってゆきたいと思っています。

実際、これらを行なうにあたっては幾つかの障壁も存在します。その一つは学校の先生方への理解を求めることであり、他の一つは事業費の自己負担分を調達することです。この点は地元企業や個人への支援を呼び掛けることで、結果としてより多くの町民に参加してもらうこととなります。もっともこの点は最近の景気動向が必ずしも良いとは言えない中、苦戦を強いられています。



まだ当該事業の達成率は道半ばという段階ではありますが、町の将来にも影響を与え得る活動と考え、さらには他地域でも応用可能な手法でもあり最後まで全力を傾けたいと決意しています。

青少年健全育成活動の推進



「みんなのありがとう」が届いています。

小中学生のみなさん。元気に生活していますか。晴れの日や雨の日があるように、元気な日もあれば、そうでない日もあると思います。人はだれでも、優しくされたり助けられたりすると元気になりますね。石川県健民運動推進本部では、みんなから募集した「ありがとう」を、石川県の小中学生に伝え、みんなが少しでも元気になればと思います。君の「ありがとう」が、石川県の小中学生を元気にします。最近、「ありがとう」と言いましたか？

健民運動ホームページの
「●青少年健全育成活動」から

「みんなのありがとう」をみるができます。

こちらです



◇平成20年度少年の主張地区大会が各地で開催されました。

少年が日常生活での体験や考えを発表する機会を持ち、同世代の少年及び世代を越えた人々の意識を啓発するとともに、青少年の社会参加意識を高めることを目的に少年の主張大会が各地で実施されました。

第27回加賀地区中学生意見発表大会



主 催:能美市 能美市教育委員会
日 時:平成20年9月6日(土)13:30~
会 場:能美市根上総合文化会館

【上位入賞者】

輪島 愛(辰口中学3年) 学びフェスタに参加して
張 詩語(錦城中学3年) 私の名前は張詩語です
青木 友恵(東和中学3年) 心の支えとなる友だち
北市木の実(錦城中学3年) お母さん、お父さん、ありがとう

第40回全能登私の主張発表大会



主 催:七尾市 七尾市教育委員会
日 時:平成20年9月14日(日)9:00~
会 場:能登演劇堂

【上位入賞者】

杉田 佑夏(御祓中学2年) 十四歳の私「働く」を考える
臼池倫太郎(朝日中学3年) 異なる文化にふれて
浅田莉華子(中島中学2年) 心のあたたかさ
鷹合 宣宗(東部中学3年) 一本勝ちをめざして

第61回金沢市「中学生からのメッセージ」発表会



主 催:金沢市中学校文化連盟弁論部
金沢市教育委員会
日 時:平成20年9月15日(月・祝)8:30~
会 場:金沢市教育プラザ富樫

【上位入賞者】

村田美希乃(金大附属中学3年) 仲間の力
辻森 悠(浅野川中学3年) あいさつの魔法
陰山 幸奈(兼六中学3年) 私達がすべきこと
小林 冴子(医王山中学3年) じいちゃんの言葉

第18回少年の主張石川中央地区大会



主 催:石川県 石川県健民運動推進本部
日 時:平成20年9月20日(土)13:30~
会 場:津幡町文化会館シグナス

【上位入賞者】

中村 祐子(布水中学3年) 看護師という仕事
岩倉 梓(白嶺中学3年) 背中を押してくれる言葉
遠藤 優紀(河北台中学3年) 無力であることを忘れない
加納美貴子(鶴来中学3年) 前に向かって進む

各地区大会で選出された上位入賞者(合計16名)は、10月4日(土)に石川県青少年総合研修センターで開催される県大会に出場します。

健民運動紹介・奨励コーナー

◇第35回太陽と緑に親しむ健民祭、10月の開催種目を紹介します

◎印の種目には当日どなたでも自由に参加できます。

★10月4日(土)・11日(土)

石川県スポーツ少年団サッカー交流大会

9:00～ 試合開始(雨天決行)

会 場：健民まめだ簡易グラウンド(金沢市)

連絡先：石川県スポーツ少年団

TEL 076-268-3100

★10月5日(日)

健民野球大会

6:00～12:00 石川県早朝野球選手権大会

12:00～17:30 金沢日曜野球連盟選手権大会

会 場：石川県立野球場(金沢市)

連絡先：石川県早朝野球協議会 TEL 076-223-8525

金沢日曜野球連盟 TEL 076-246-2488

★10月10日(金)

◎リズムダンス講習会

～10:00 受付

10:00～12:00 リズムダンス講習会

運動できる服装、シューズ、タオルが必要です

会 場：河北台健民体育館(かほく市)

参加費：無料 どなたでも参加できます

連絡先：石川県リズムダンス協会

TEL076-276-8577(太田方)

★10月12日(日)

◎おはようサイクリング石川健民大会

8:30～ 9:30 受付(雨天順延10月13日)

9:30～10:00 開会式

10:00～ スタート

会 場：健民まめだ簡易グラウンド若宮大橋下

参加費：一人500円 (金沢市)

連絡先：おはようサイクリング石川県協議会

TEL 076-247-2028

(サイクルファクトリーオカモト)

*コース まめだ簡易グラウンド→専光寺→みなと会館→(自転車安全教室・昼食)→

五郎島町(イモ掘り)→まめだ簡易グラウンド(往復約28km)

*参加者は、小学3年生以上。(小学3年生以下の児童は保護者同伴で参加してください。)

★10月13日(月・祝)

◎健民オリエンテーリング大会

8:30～ 9:30 受付(雨天決行、荒天中止)

10:00～10:25 開会式

10:30～ スタート

会 場：石川県森林公園(津幡町)

参加費：無料(参加希望者は、当日受付します。)

連絡先：石川県オリエンテーリング協会

TEL 076-241-5582

*競技形式 スコアオリエンテーリング(制限時間90分)

○個人

クラス	年齢制限	クラス	年齢制限
男子A	なし	男子B	40歳以上
女子A	なし	女子B	40歳以上
初心者	年齢・性別制限なし		

○グループ(1チームの人数は、2～3人とする)

クラス	グループの構成
少年組	中学生以下で構成するチーム
家族組	小学生以下の子どもを含むチーム
一般組	上記以外で構成するチーム

◎健民歩こう大会

10月 4日(土) 加賀百万石・前田家の城下町そぞろウォーク(金沢市)

時 間:8時30分 参加費:200円

連絡先:石川県歩こう会連絡協議会(TEL 090-5685-6382)

県民ボランティアセンターだより

* 収集物（9月分）*

＜使用済み切手＞

金沢県税事務所納税課、金沢中央郵便局、県民交流課、
厚生政策課、犀川河川愛護会、農業安全課、農業基盤課

計 7 件



ご協力ありがとうございました。

ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがきにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

* ひとこと *

さわやかな秋晴れの頃となり、いろいろな活動がしやすい季節ですね。
当センターではたくさんのご使用済み切手が寄せられています。
使用済み切手の収集は、時間や場所を問わずに気軽にできるボランティアです。
みなさんも、いまできることから始めてみませんか。

（財）石川県県民ボランティアセンター

〒920-0962

金沢市広坂2丁目1番1号 石川県広坂庁舎2号館2階

tel:076-223-9558 fax:076-223-9559

e-mail:e130500a@pref.ishikawa.lg.jp

10月の健民運動カレンダー



10 / 8（木）10:15～

第60回石川県公民館大会

於：珠洲市 ラポルトすず 主催：石川県公民館連合会、珠洲市公民館連合会

10 / 19（日）7:50～

第27回野々市じょんがらの里マラソン大会

於：野々市町民体育館前

主催：野々市町、野々市町民体育協会、北國新聞社

10 / 19（日）9:00～

石川県知事杯・グラウンド・ゴルフ選手権大会

於：小松市・木場潟中央園地、特設グラウンド・ゴルフ場

主催：石川県グラウンド・ゴルフ協会

第17回石川県スポーツ・レクリエーション祭 （10月開催予定）

10 / 5（日）9:00～

ニュースポーツの体験（ディスクゲッター、バグジー、ネットネットゲーム、フリーフロー、ローフジャンプ他）

於：七尾市・城山陸上競技場周辺、特設グラウンド・ゴルフ場

問い合わせ：七尾市教育委員会スポーツ振興課

10月～12月（計15回）

中高年スポーツの集い（カラーリング、スティックポイントゲーム、ペタンク、シャッフルボード、ミニボーリング）

問い合わせ：輪島市教育委員会スポーツ振興課

薫 風

集中豪雨の被害に遭って



石川県BBS連盟

会長 持田 真生

去る7月28日の朝6時頃から私の住む地域、浅野川上流の湯涌地区は約2時間にわたって豪雨に見舞われました。降り出してから1時間ほどで自宅の裏山から、先ずは滝のような水があふれ出し、7時過ぎには家の窓が割れる音を聞き屋外に避難しました。消防隊の勧めで避難場所に向かいましたが、道路がすでに浸水しており避難所へ行くこともできず、高台の安全な場所で待機しておりました。そのうちに川の水がみるみる田畑をのみこみ堤防を破壊してゆき、まさにゲリラ豪雨といわれるものでした。

雨が小降りになった頃より家族で土砂出しを始めていたところ、まずは被災されなかった方々が手伝いに来られ、自宅の始末をされた方も次々と見えられました。またニュースなどで知られた方も、遠くは能登島から災害の後片付けに来てくださいました。皆さんの「おたがいさまや」と言って労力を惜しまない姿に、人の力のすごさ、優しさにふれ感謝の念にあふれました。この水害に遭いましてあらためて人の素晴らしさ、地域社会の重要性を教えられました。私の場合は町内・地域の方々の協力・励ましで地元での復興に努力する事ができましたが、被災された方の中には地元を離れなければならない方もいて、改めて山村集落の少数化・高齢化という問題を痛感しました。この状態は山村集落だけでなく市街地中心部でも見受けられるのではないのでしょうか。

明るい社会づくり運動のパンフレットの表紙に“共に生きる”とありますが、現代社会では自分が自分がという自己中心的な考え方になりがちですが、今回の水害に遭ってみてやはり多くの人の助けを受けて生かされていると言う事を実感しました。本当に“共に生きる”生きていける社会の実現を目指して地域社会に根差したボランティア活動をして行きたいものです。



毎月7日は「健康の日」です。
～歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう。～



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～